

## 「北方海域技術研究会 平成29年度 技術研究発表会」を開催しました

寒冷沿岸域チーム、水産土木チーム

2018年2月2日に当研究所講堂において、「北方海域技術研究会 平成29年度 技術研究発表会」（主催：日本技術士会北海道本部北方海域技術研究委員会、寒地土木研究所）を開催しました。本研究発表会は、港湾・水産関係技術者の技術力向上をめざして、毎年開催しており、技術者同士の交流の場としても貴重な機会となっています。日本技術士会北海道本部と当研究所は2011年11月に「連携・協力協定」を締結しており、連携行事の一環でもあります。

今年の技術研究発表会では、次の4名の方の講演がありました。

当研究所寒冷沿岸域チームの木岡主任研究員は「海水のはなしと寒冷沿岸域チームでの研究概要」と題して、海水の形成・構造・性質等の基礎的な話の後、氷海域における津波防災を中心とした研究概要などについて講演しました。また、水産土木チームの梶原研究員は「衛星画像による海底被覆物マップを用いた漁場環境の評価手法について」と題し、衛星画像から藻場の繁茂状況を把握する手法について講演を行いました。

北海道水産林務部水産局漁港漁村課の井上真仁専門主任より「漁港内泊地をナマコ増養殖へ有効活用するための検討について」と題して、ナマコの生息環境の確保を目的とした港内の海水交換シミュレーションなどの事例について講演されました。

また、日本データサービス株式会社水工第I部の若森宣人課長は「リニューアルパネルを用いた港湾・漁港構造物の補修方法の紹介」と題して、リニューアルパネルの施工方法を紹介し、この有効性と今後の課題について解説いただきました。

各講演とも興味深い内容であり、会場では活発な質疑が交わされ、この発表会への関心の高さが感じられました。今回の研究発表会には北海道開発局、寒地土木研究所、民間企業等より約70名の参加がありました。主催者の一員として、ここに記して謝意を表する次第です。



写真-2 井上真仁氏の講演



写真-1 会場の様子



写真-3 若森宣人氏の講演

（文責：前 水産土木チーム 大橋 正臣）